

令和 5 年度

網走市における景気動向調査

<第 I 四半期>

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章 調査要領

1-1	調査時点及び調査対象期間	1
1-2	調査対象	1
1-3	調査方法	1
1-4	回収状況	1

第2章 概況

2-1	全体の動き	2
2-2	業種別の動き	3
1)	建設業	3
2)	製造業	4
3)	卸売業	4
4)	小売業	5
5)	サービス業	5

第3章	業種別設備投資の状況	6
-----	------------	---

第4章	業種別経営上の問題点	7
-----	------------	---

第5章	業界の景気動向等その他のご意見	8
-----	-----------------	---

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：令和5年4月1日（土）～令和5年6月30日（金）
- (2) 調査対象期間：令和5年4月～6月期実施、及び令和5年7月～9月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（30件）、製造業（24件）、卸売業（20件）、小売業（40件）、サービス業（44件）の158社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

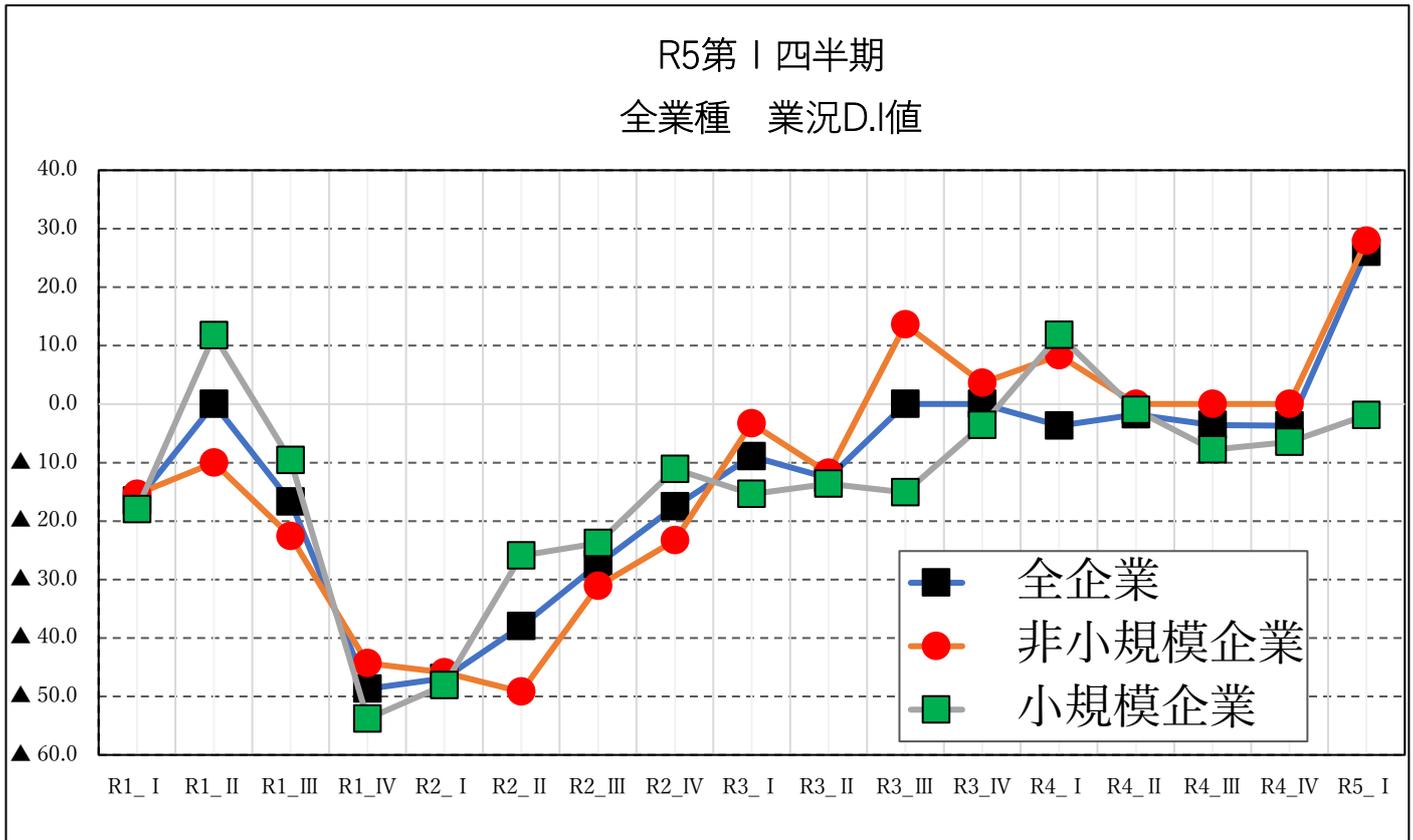
調査対象に案内文と調査票を送付し、FAXもしくは同封の返信用封筒による郵送、インターネット（Google フォーム）による返信にて回答を受ける。

1-4. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業	30件	24件 (非小規模企業：12件) (小規模企業：12件)	80.0%
製造業	24件	17件 (非小規模企業：9件) (小規模企業：8件)	70.8%
卸売業	20件	10件 (非小規模企業：8件) (小規模企業：2件)	50.0%
小売業	40件	29件 (非小規模企業：17件) (小規模企業：12件)	72.5%
サービス業	44件	24件 (非小規模企業：13件) (小規模企業：11件)	54.5%
合計	158件	104件	65.8%

第2章 概況

2-1. 全体の動向



令和5年度第I四半期（4月～6月）の全企業業況は、前年同期に比べ、「好転企業」26.0%、「悪化企業」27.9%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は $\Delta 1.9$ となり、前回（D.I値 $\Delta 3.7$ ）に比べ、その差は1.8ポイント好転傾向となっています。

非小規模企業の業況は前年同期に比べ、「好転企業」22.0%、「悪化企業」30.5%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は $\Delta 8.5$ となり、前回（D.I値0.0）に比べ、その差は8.5ポイントと悪化傾向となっています。

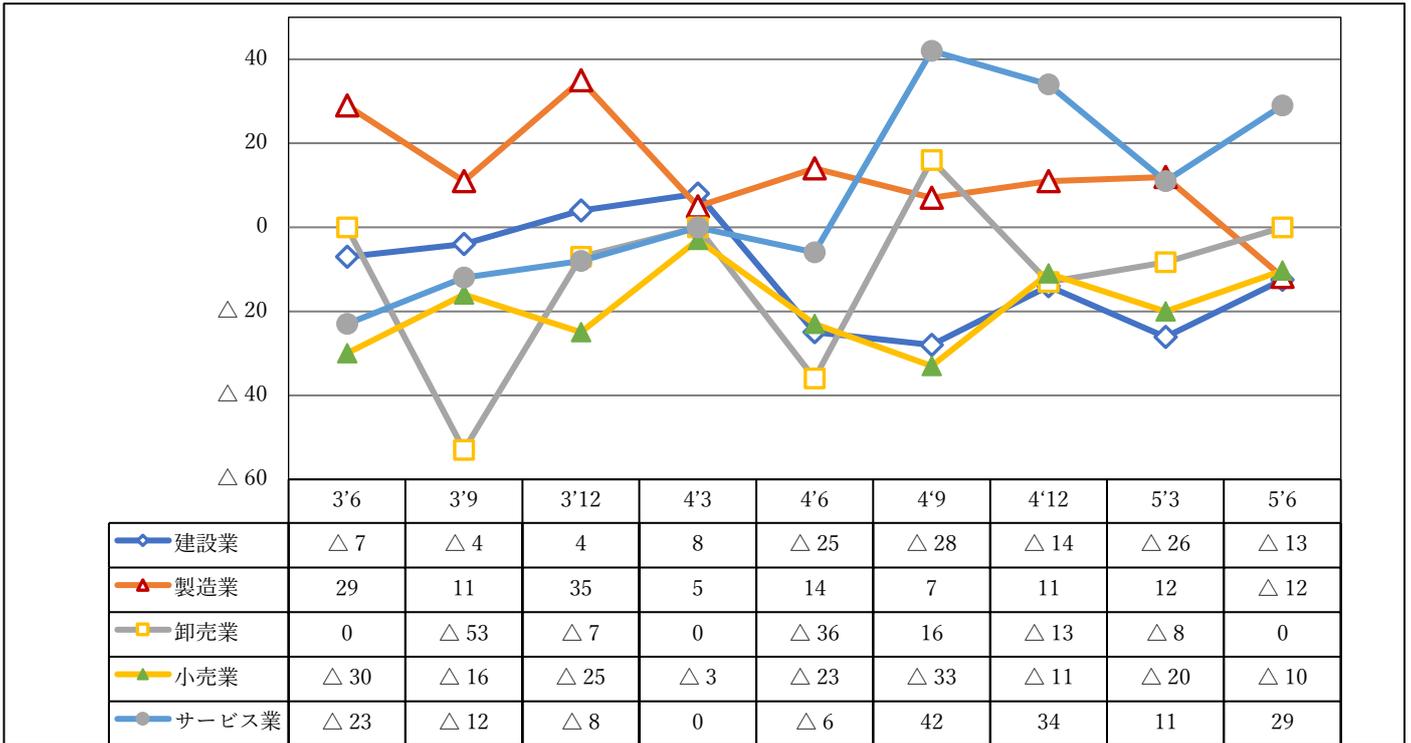
小規模企業の業況は前年同期に比べ、「好転企業」31.1%、「悪化企業」24.4%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は6.7となり、前回（D.I値6.6）に比べ、その差は0.1ポイント好転傾向となっています。

次期（7月～9月）見通しとして全企業の業況は、今期に比べ「好転企業」22.1%、「悪化企業」24.0%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は $\Delta 1.9$ となり、今期（D.I値 $\Delta 1.9$ ）に比べ、その差はなしとなっています。

非小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」18.6%、「悪化企業」28.8%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は $\Delta 10.2$ となり、今期（D.I値 $\Delta 5.0$ ）に比べ、その差は5.2ポイント悪化傾向となっています。

小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」26.7%、「悪化企業」17.8%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は8.9となり、今期（D.I値4.4）に比べ、その差は4.5ポイント好転傾向となっています。

2-2. 業種別の動向



1) 建設業

完成工事高

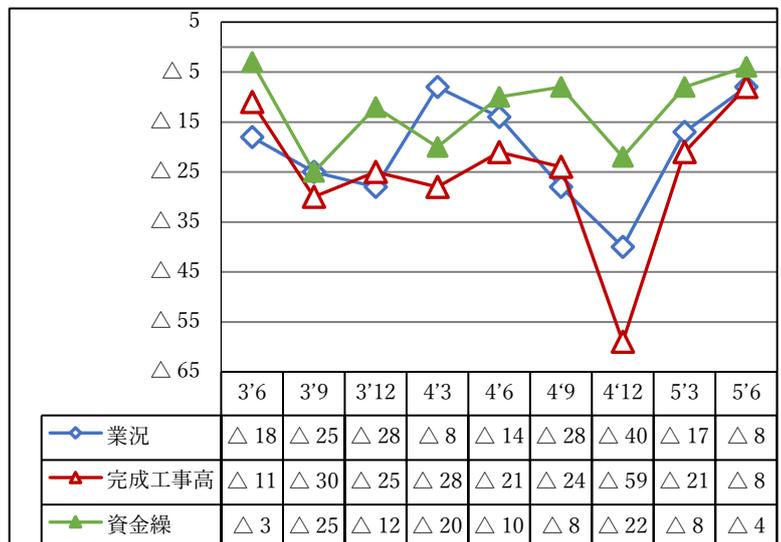
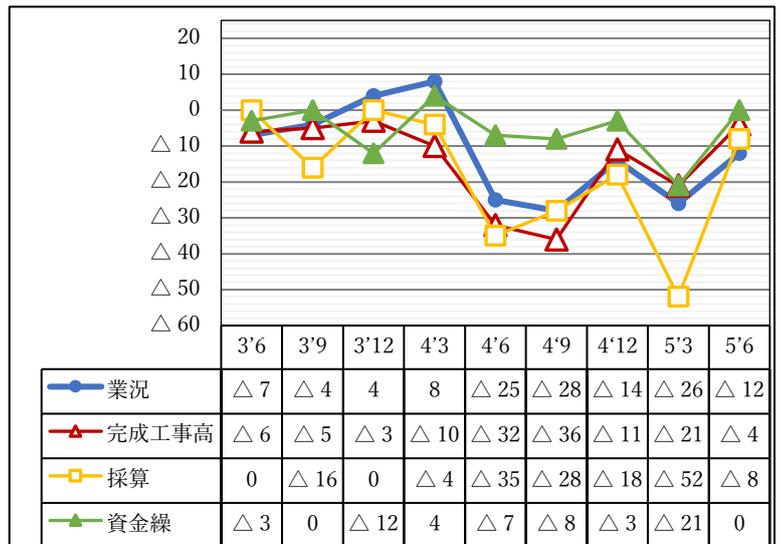
前年比で「好転企業」20.8%、「悪化企業」25.0%、D.I.値△4.2と前年同期（△32.1）に比べ27.9ポイントの好転傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」16.7%、「悪化企業」25.0%、D.I.値△8.3と前年同期（△35.8）に比べ27.5ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況D.I.値△8.4（前年同期D.I.値△14.3）、完成工事高D.I.値△8.3（同△21.4）、資金繰り△4.2（同△10.7）と前年同期に比べ、全ての見通しで好転傾向を示しました。



2) 製造業

生産高

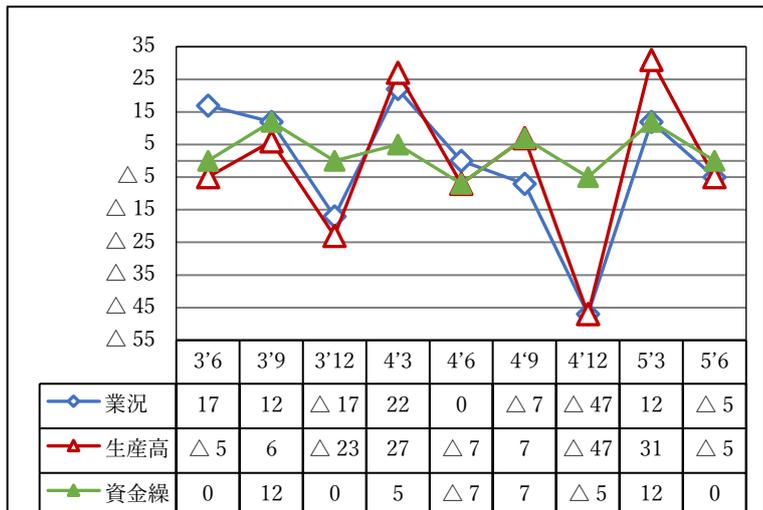
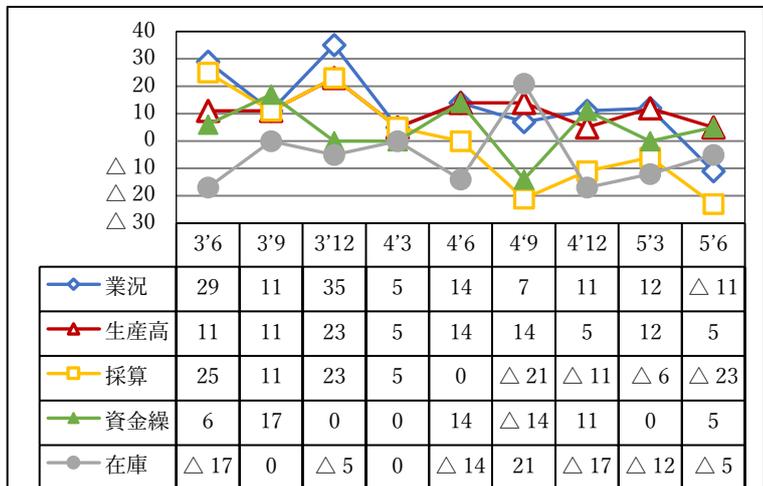
前年比で「好転企業」29.4%、「悪化企業」23.5%、D.I.値 5.9 と前年同期（14.3）に比べ 8.4 ポイントの悪化傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」17.6%、「悪化企業」41.2%、D.I.値△23.6 と前年同期（0.0）に比べ 23.6 ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値△5.8（前年同期 D.I 値 0.0）、生産高 D.I 値△5.9（同△7.1）、資金繰り 0.0（同△7.2）と前年同期に比べ、2つの見通しで好転傾向を示しました。



3) 卸売業

売上高

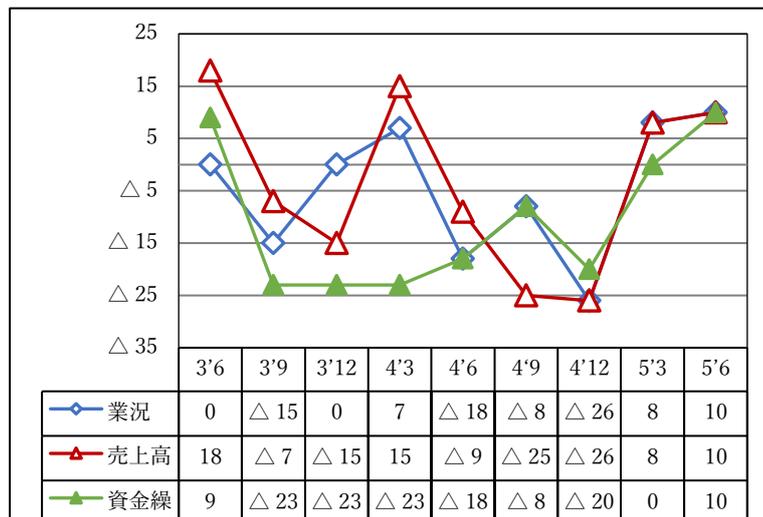
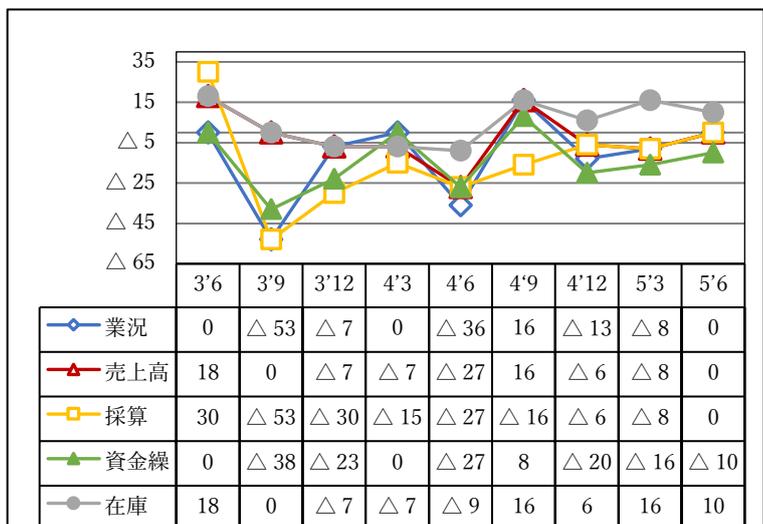
前年比で「好転企業」20.0%、「悪化企業」20.0%、D.I.値 0.0 と前年同期（△27.3）に比べ 27.3 ポイントの好転傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」20.0%、「悪化企業」20.0%、D.I.値 0.0 と前年同期（△27.3）に比べ 27.3 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値 10.0（前年同期 D.I 値△18.2）、売上高 D.I.値 10.0（同△9.1）、資金繰り 10.0（同△18.2）と前年同期に比べ、全ての見通しでは好転傾向を示しました。



4) 小売業

売上高

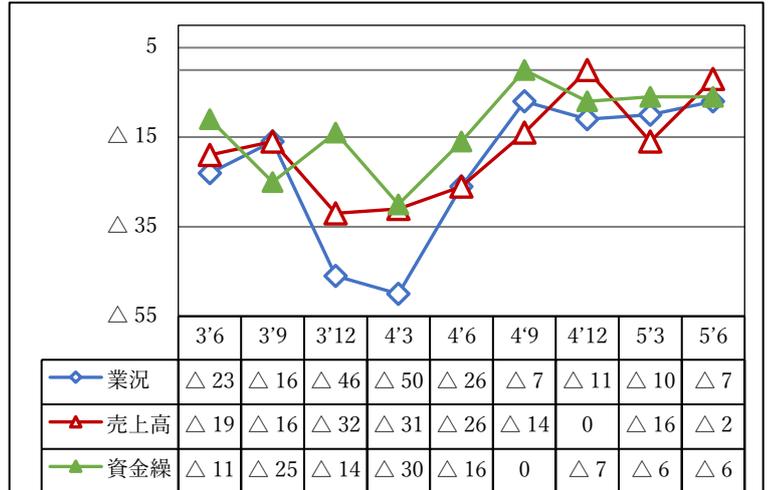
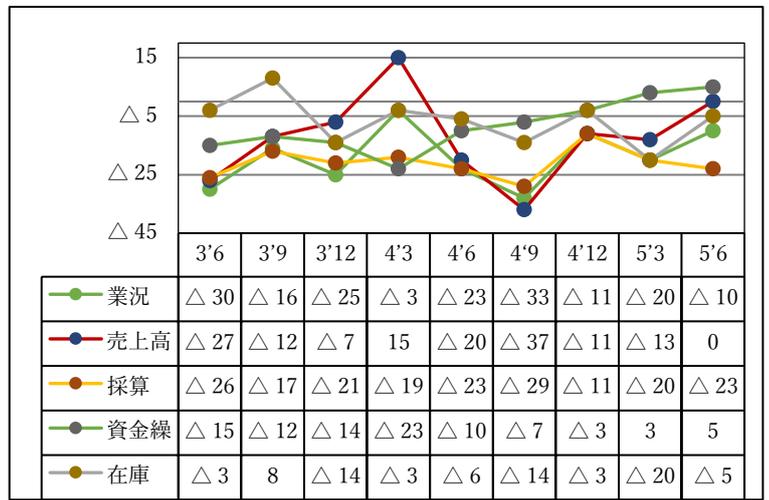
前年比で「好転企業」24.1%、「悪化企業」23.5%、D.I.値0.6と前年同期(△20.0)に比べ19.4ポイントの好転傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」17.6%、「悪化企業」41.2%、D.I.値△23.6と前年同期(△23.3)に比べ0.3ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況D.I.値△7.3(前年同期D.I.値△26.6)、売上高D.I.値△2.8(同△26.7)、資金繰り△6.9(同△16.7)と前年同期に比べ、全ての見通しで好転傾向を示しました。



5) サービス業

売上高

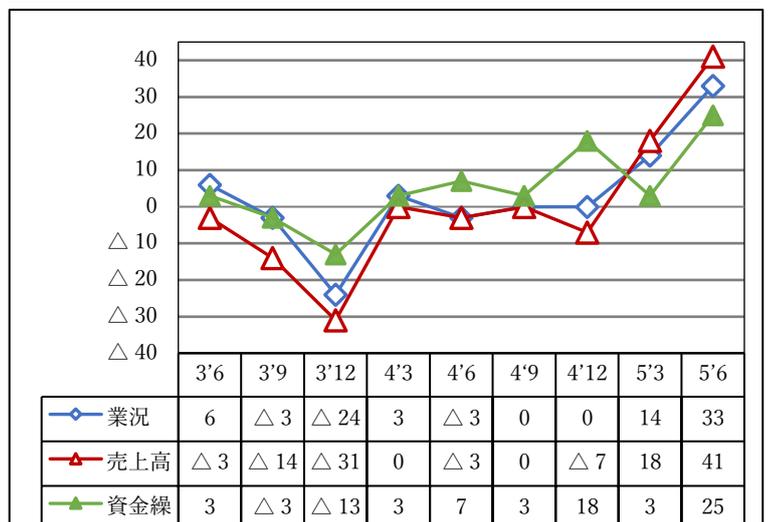
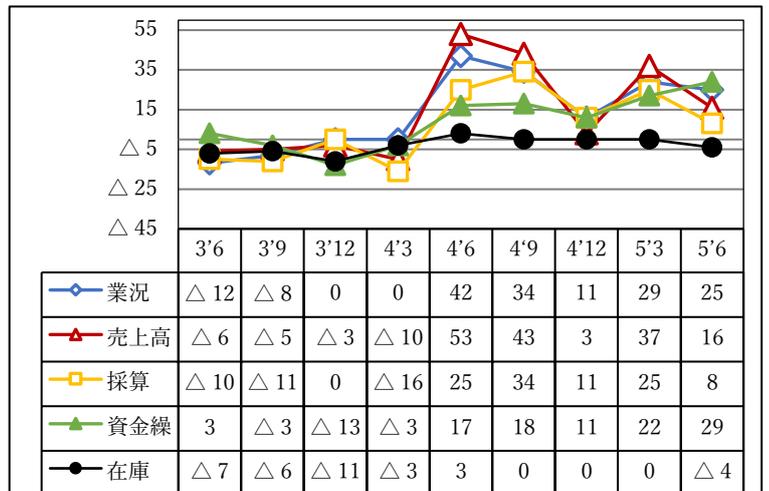
前年比で「好転企業」45.8%、「悪化企業」29.2%、D.I.値16.6と前年同期(53.6)に比べ、37.0ポイントの悪化傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」45.8%、「悪化企業」37.5%、D.I.値8.3と前年同期(25.0)に比べ16.7ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況D.I.値33.4(前年同期D.I.値△3.6)、売上高D.I.値41.7(同△3.6)、資金繰り25.0(同7.2)と前年同期に比べ、全ての見通しで好転傾向を示しました。



第3章 業種別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別設備投資の動向

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
実施した	4 件	7 件	2 件	1 件	6 件	20 件
実施していない	20 件	10 件	8 件	28 件	18 件	84 件
合計	24 件	17 件	10 件	29 件	24 件	104 件

表2 業種別設備投資の内容

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
土地	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
店舗	0 件	0 件	0 件	0 件	1 件	1 件
販売設備	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
車輛運搬具	4 件	4 件	1 件	0 件	2 件	11 件
付帯設備	0 件	1 件	0 件	1 件	0 件	2 件
OA機器	0 件	1 件	0 件	0 件	2 件	3 件
福利厚生施設	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件	1 件
その他	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
合計	4 件	7 件	1 件	1 件	5 件	18 件

※複数回答あり

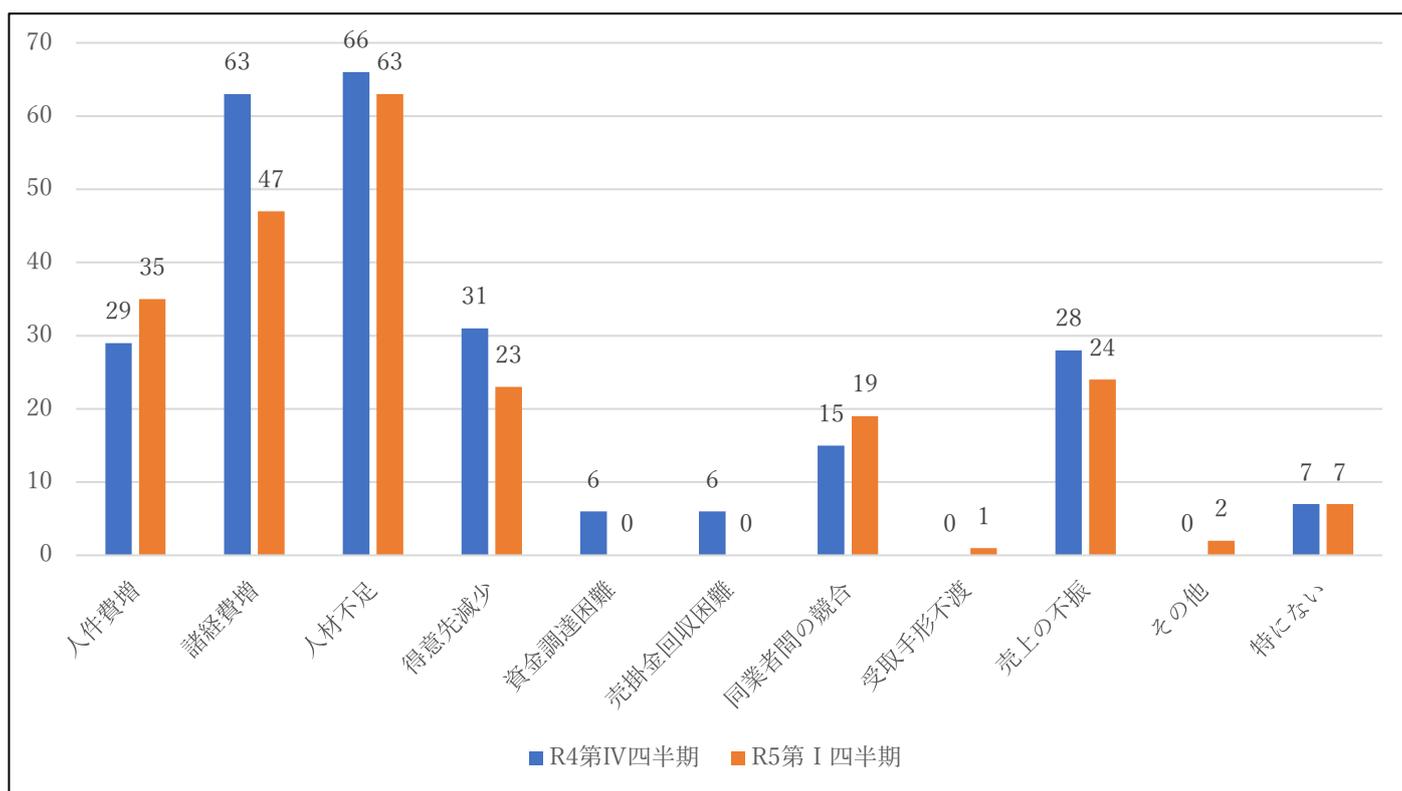
○全業種でみると設備投資に実施したのが20件、実施していないが84件となりました。前回は設備投資を実施したのが27件、実施していないが84件でありました。また、設備内容として最も多かったのは車輛運搬具、次いでOA機器となっています。前回車輛運搬具が最も多く、付帯設備が2番目に多く占めていました。

第4章 業種別 経営上の問題点

表1 業種別上位

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建設業	人材不足	人件費増	諸経費増 売上の不振	同業者間の競合	得意先減少
製造業	諸経費増	人材不足	人件費増	売上の不振	得意先減少 同業者間の競合
卸売業	諸経費増	人材不足	人件費増 得意先減少	同業者間の競合 売上の不振	特になし
小売業	人材不足	得意先減少	諸経費増 売上の不振	人件費増 同業者間の競合	特になし
サービス業	人材不足	諸経費増	人件費増	得意先減少	同業者間の競合
全業種	人材不足	諸経費増	人件費増	売上の不振	得意先減少

グラフ1 業種別件数



※複数回答あり

○全業種でみると前回調査に引き続き、上位5位までの順位に変動はありませんでした。また、業種別でみると、全業種で「人材不足」、「諸経費増」、「人件費増」が多く占めており、建設業、小売業、サービス業では前回同様、「人材不足」が多く占め、製造業、卸売業では「諸経費増」が多く占めました。

第5章 業界の景気動向等その他のご意見

○業界の問題点について

【建設業】

- ・外の暑さが大変です。
- ・職員の高齢化と人材不足、働き方改革時間外勤務、新卒者不足、入社後数年で離職、協力業者の人手不足、業界のM&A化の加速。
- ・人材不足。
- ・エネルギー高騰、輸入原材料高騰に伴う資材の値上げ等で物価上昇がインフレに振れて経済成長しているような雰囲気だが、スタグフレーションの状況を把握していない上に賃金アップや働き方改革などの雰囲気を作っている。地に足をつけしっかりとモノづくりで経済成長を目指すべきと感じる。

【製造業】

- ・原材料と光熱費の高止まりで利益減少。人材がほしいがいない。
- ・売上は好調ですが資材や原材料の値上げ、電気代値上げで利益がとりにくい状況、新規ビジネスにチャレンジしていき構築を目指す。
- ・中国問題アルプス水放出。
- ・人材不足。
- ・3ヶ月毎くらいの頻度で原材料の値上げが価格に転嫁できない。5年4月には値上げできたが年に何回もは理解していただけない。
- ・売上は良くても、原材料費の高騰で利益が減少している、価格転嫁もなかなか難しい。

【小売業】

- ・後継者問題。
- ・コロナ後の景気回復は全体弱含みで推移している。知床カズワン事故は風評で厳しく見える（特に斜里、ウトロ）。網走の観光は重油漏れ解決を急がなければ将来懸念が残りそう。経営も今日の匂を掴めなければ生き残ることさえ難しいだろう。経営者のセンス問われる。
- ・相変わらずの人手不足で求人を出しても応募がありません。
- ・人手不足による24時間365日営業の維持が厳しい。

【サービス業】

- ・人手不足で困っている。
- ・最低賃金上昇、需要に対して供給が追いついていない。